

saveMLAK ニュースレター 第52号

図書館総合展フォーラム in 熊本 参加報告

2017年7月10日に開催された図書館総合展フォーラム in 熊本に参加聴講してきました。このフォーラムは、震災後の図書館復興と、震災アーカイブの構築をテーマとして開催され、昨年に発生した熊本の地震被災を受けて1年経った現在を切り取り、これからの災害情報の収集や復興を目指した内容だったように思います。

基調講演は防災図書館・防災科学技術研究所で情報専門家として災害情報の提供と収集に携わってきた堀田弥生さんによる講演でした。災害アーカイブ構築の実務的な方法論だけでなく、とりわけ、近隣の情報収集を行う災害アーカイブのコミュニティ作りや、実体験に基づく災害アーカイブが閉鎖される事例報告なども興味深く、幅広い視点から示唆に富むものでした。

また、分科会では、熊本県内でのMLAの各機関をつないで、専門家の柔軟な連携によるアーカイブのためのコミュニティ作りなど、さまざまな角度から議論が行われました。参加者は200名近くと熱気があり、熊本県内外さまざまな関係者、関係団体との交流の場としても有意義でした。

また、公式プログラムだけでなく、時間を見つけて、くまもと森都心プラザ図書館など、近隣での被災図書館が復旧して再開している様子の見学、熊本城の被災と復旧工事の途中経過なども見学させていただきましたが、情報にかかわる者として大変なご苦労がうかがえました。

【高久雅生】



合間に見学した熊本城天守の被災復旧工事の様子

2017 牡鹿鯨まつりに参加

かつて捕鯨が盛んであった牡鹿で8/6(日)に開催された「牡鹿鯨まつり」に参加してきました。

宮城県牡鹿半島の突端部に位置する牡鹿・鮎川は、2011年に発生した東日本大震災にて甚大な被害を受けた地域です。旧牡鹿町内で収集・調査・保管されていた考古・民俗資料群も津波によって被災しましたが、幸い流出することは免れました。このうち、民俗資料については、東北学院大学の学生が主体となって被災文化財レスキュー活動が続けられ、現在はクリーニングなどの保存修復処理が終了し、石巻市に返還されています。この活動の中では、文化財の処理だけではなく、被災したことによって失われた文化財のバックデータ(来歴など)の収集や、地域の文化復興を目的として、現地での展示活動が行われてきました。鯨まつりでも、東北学院大学の学生は、まつり運営のボランティアとして、また、被災文化財レスキュー活動の展示紹介として参加しています(写真1)。

鯨まつりは、捕鯨の町・牡鹿の文化を伝承するまつりであり、震災後は平成25年から旧牡鹿公民館跡地を中心会場として開催されています。当時の公民館は解体、今は「石巻市復興まちづくり情報交流館」が建設され、地域の交流拠点として賑わっています(写真2)。鯨まつりという通り、お昼には鯨肉の炭火焼きが無料で振舞われたり、近隣学校の生徒によるステージ発表などもありました。

震災から六年半が経過し、新しい地域の交流拠点や祭りなどが復活しつつあります。しかし、祭り会場の海側には背の高い堤防が現在も建設中であるという風景もあります。私も一年に一度ぐらいしか訪れることができませんが、これからも機会を見つけ足を運びたいと思っています。金華山を望む牡鹿・鮎川地区、金華鯖や雲丹、そして鯨肉も美味しい場所です。ぜひ皆さんも一度訪ねてみてはいかがでしょうか。

【あこたかゆき】



被災文化財レスキューの紹介 (あこ撮影)



「復興まちづくり情報交流館」と鯨まつりの様子 (あこ撮影)

10/7 (土) ウィキ祭り開催!

今後の予定

2017年10月7日(土)14:00～16:30をコアタイムとして、今年もsaveMLAKウィキ祭りを開催いたします。

今回は、「東北の施設のいま(その後)を追って」をテーマにし、編集を進めていきたいと思っています。複数人で集まって編集するもよし、ひとりでコツコツと編集するのも歓迎。時間帯も時間を見つけた時にできる分だけで大丈夫。

”1人が1箇所編集するだけでも、100人あつまれば、100箇所変更することになります。それって大きなことです。”

複数人が集まる会場などはsaveMLAKのウェブサイトで表明されていく予定ですので、詳細はそちらをご覧ください。

ウィキ祭りでの編集項目を考えてみよう!ウィキ祭りが始まるまでに、自分の目標を立ててみませんか?そうすると、当日編集に集中できるかも。いくつかの編集目標を想定してみましたので、目標を書き出してみてくださいね。

例1:基本データ(名称、住所など)の加筆

- ・
- ・
- ・

例2:東北の施設のいまを追記!

- ・
- ・
- ・

例3:熊本の情報を追記

- ・
- ・
- ・

例4:館主を絞って情報追加

- ・
- ・
- ・

例5:saveMLAKサイトの改善要望を挙げてみる

- ・
- ・
- ・

などなど、ぜひ、皆さんで取り組みましょう!

10/7 (土) saveMLAK ウィキ祭り
第79回 saveMLAK Meetup

10/24 (木) 第80回 saveMLAK Meetup

11/7 (火)～9 (木)
第19回図書館総合展

saveMLAK 会計

2017年6～8月期(合算)会計報告

収入	受取寄付金	¥4,956	懇親会費等
	受取寄付金	¥2,735	個人1名
	計	¥7,691	

支出 ¥0

8月末現在 残高 ¥768,331 (前月比+7,691円)

【ファンド係:赤塚昌俊】

編集後記

Newsletter 編集中、迷走を続けた台風18号が日本列島に上陸し、各地での暴風や豪雨の被害が報道されました。台風が迫ってくる中、気にせず祭りをおこなっている地域もありましたが(私のところですが)、台風の進路にあたる地域では対策をたてられていたことでしょう。自然災害をゼロにすることは厳しいと思いますが、被害を最小にする方法はあるはず。saveMLAK メソッドも、普段からの備えを考え、いざという時に自館で実践できるようにする訓練プログラムです。ぜひ、このような機会にもう一度saveMLAK メソッドを見直してみてください。

【今号編集担当:あこたかゆき】

編集発行: saveMLAK プロジェクト

発行日: 2017年9月19日(第52号)

発行所: 神奈川県横浜市中区相生町3-61 泰生ビル

さくら Works <関内> 408

アカデミック・リソース・ガイド株式会社内

saveMLAK プロジェクト

E-mail: pr@savemlak.jp

URL: <http://savemlak.jp/>

